

令和3年 犬山市の救急救助業務概要

救急活動状況

令和3年中の救急活動状況は、出動件数3,033件、搬送人員2,856人で前年と比較すると出動件数は199件、搬送人員は190人の増加でした。これは1日に平均8.3件、2.8時間に1件の割合で救急隊が出動し、市民の約25人に1人が救急隊によって搬送されたこととなります。（令和3年11月30日の管轄人口を基準に算出）

事故種別

上位の出動件数は急病が最も多く、1,945件、次いで一般負傷481件で以下、転院搬送245件、交通事故191件の順となっています。

前年と比較すると、急病が84件、一般負傷が24件、交通事故が11件、転院搬送が29件増加しました。

年齢・程度別

搬送人員2,856人を年齢別で見ると、新生児8人、乳幼児98人、少年96人、成人764人、高齢者1,890人となっています。

搬送人員2,856人を程度別にみると、死亡30人、重症261人、中等症1,588人、軽症977人でした。前年と比較すると、死亡が20人、軽症が91人減少し、重症が33人、中等症が268人増加しました。

その他

応急手当講習会の開催数は78回で、1,424人の方が受講されました。

内訳は、上級救命講習（8時間）が1回6人、普通救命講習（3時間）が19回63人、その他の救急講習が58回1,355人です。

救助活動状況

令和3年中の救助出動件数は62件でした。その出動で実際に活動したのは38件、救出したのは38人でした。原因別にみると、建物等の事故による出動件数29件（救出人数15人）、交通事故による出動件数10件（救出人数11人）、水難事故による出動件数3件（救出人数2人）上記以外の理由による出動件数20件（救出人数10人）となっています。

救助出動件数（ ）は令和2年

救助に伴う救急搬送人数・傷病程度

種別	出動件数	活動件数	救出人数
建物等の事故	29(12)	20(6)	15(4)
交通事故	10(12)	4(5)	11(5)
水難事故	3(2)	2(1)	2(1)
上記以外	20(20)	12(14)	10(17)
合計	62(46)	38(26)	38(27)

種別	死亡	重症	中等症	軽症	合計
建物等の事故	0	1	6	3	10
交通事故	0	1	2	5	8
水難事故	0	1	0	0	1
上記以外	0	0	7	2	9
合計	0	3	15	10	28

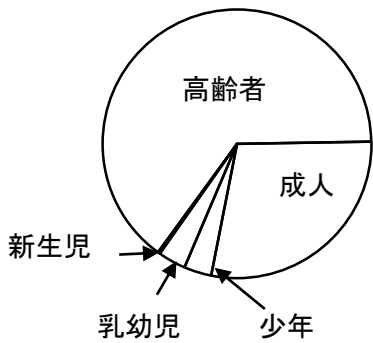
年齢・程度別搬送人数

令和2年
搬送 2,666人

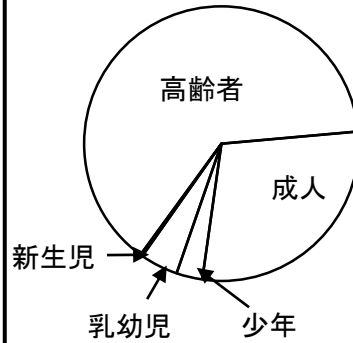
令和3年
搬送 2,856人

年齢区分別

年齢区分別



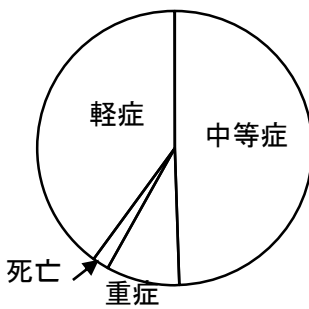
□ 高齢者	1,730人
□ 成人	756人
□ 少年	93人
□ 乳幼児	86人
□ 新生児	1人



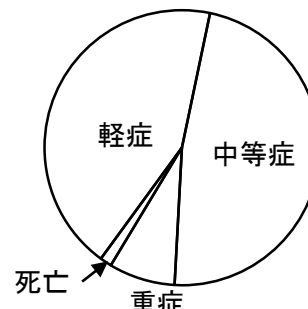
□ 高齢者	1,890人
□ 成人	764人
□ 少年	96人
□ 乳幼児	98人
□ 新生児	8人

程度区分別

程度区分別



□ 軽症	1,068人
□ 中等症	1,320人
□ 重症	228人
□ 死亡	50人



□ 軽症	977人
□ 中等症	1,588人
□ 重症	261人
□ 死亡	30人

程度区分（医師の診断に基づく）

- 死亡 初診時に死亡が確認された者
- 重症 傷病程度が3週間以上の入院を必要とする者
- 中等症 傷病程度が重症又は軽症以外の者
- 軽症 傷病程度が入院加療を必要としない者

年齢区分

- 新生児 生後27日までの者
- 乳幼児 生後28日から6歳までの者
- 少年 7歳から17歳までの者
- 成人 18歳から64歳までの者
- 高齢者 65歳以上の者

		救急事故種別											その他			
区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資器材輸送	その他	
令和3年	出動件数	3,033	6	0	3	191	60	14	481	7	26	1,945	245	0	0	55
	搬送人員	2,856	1	0	1	178	60	14	470	6	17	1,864	245			
令和2年	出動件数	2,834	11	0	1	180	43	9	457	11	21	1,861	216	0	0	24
	搬送人員	2,666	4	0	1	168	43	9	450	10	16	1,750	215			